



Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

爪切り屋  
の  
足楽  
ASHI-RAKU

この事業は、日本財団・爪切り屋足楽の支援により実施しています。



アスリート先生 学校派遣事業  
**Challengers Academy**  
実施レポート

2024年1月25日(木)  
港区立小中一貫教育校 赤坂学園  
赤坂中学校  
前園真聖 先生(サッカー)



赤坂スポーツクラブ 運営事務局  
一般社団法人FELICEスポーツクラブ

# チャレンジャーズアカデミー 実施にあたって

IMD(国際経営開発研究所)が発表した「世界競争力年鑑2022」によると、ビジネス分野における近年の日本の『世界競争力』は大幅に落ちており、今後、日本ではグローバル社会で活躍できる人材の育成が急務であるといえます。

そこで、海外を経験したアスリートが、日本の未来を担う子どもたちへ自身の経験や想いを子どもたちに伝えることで、夢やチャレンジ精神をもつことの大切さを知ってもらい、国際社会での活躍を意識してもらえよう、アスリート先生による学校授業プログラム「チャレンジャーズアカデミー」を立ち上げました。

いくつもの困難を乗り越え、自身の夢や目標に向かい、世界を舞台に挑戦してきたアスリートたち「チャレンジャーズ」のこぼれや経験は、子どもたちに気づきをもたらし、勇気を与える力があると信じています。

同時に、学校教諭の指導力向上や働き方改革の一助となること、また、アスリート達の社会貢献の場となり、セカンドキャリア支援となる仕組みを生み出すことを目指します。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。

「チャレンジャーズアカデミー」でのふれあいの中での学びが、子どもたちが今後国際社会に出て、人生を歩んでいくにあたり、活かせる資質や能力を育み、また、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送り健康的な人生を送るきっかけとなることを期待しています。

# 1. 実施概要

【事業名】 チャレンジャーズアカデミー

【主 催】 一般社団法人FELICEスポーツクラブ

【支 援】 公益財団法人日本財団

【協 賛】 爪切り屋足楽 人形町店、合資会社ノアール・ブラン

【日 程】 2024年1月25日(木)

【実施校】 東京都港区立赤坂中学校(東京都港区赤坂9-2-3)

【目 的】 海外を経験したことのある元アスリート＝「チャレンジャー先生」が教師役となり運動と講義の授業を実施し、子どもたちへアスリート自身が海外に出たきっかけや、どのように語学やコミュニケーション能力を身に付けたのか、また海外で遭遇した困難をどう乗り越えたかなど、自身の経験を伝えることで、子どもたちが国際感覚を養い、将来世界を舞台に活躍することを意識するきっかけをつくります。

【チャレンジャー先生】 前園真聖先生（サッカー）

【実施クラス】 中学1～3年生(3学年) 142名  
1年生(2クラス)51名、2年生(2クラス)48名、3年生(1クラス)43名  
※対象学年、クラスは学校からの希望を受け決定

【実施方法】 運動と講義の2コマ1セットの授業を、クラス単位または学年単位で実施

- 運動の時間 チャレンジャー先生自身の競技・トレーニングを実践し、その競技に親しむとともに、スポーツの楽しさを知ってもらいます。
- 講義の時間 目標を達成させるためにしたこと、海外での困難にどう乗り越えたかなど、先生自身の経験や想いを伝え、生徒に国際社会で活動することについて考えてもらいます。
- アンケート・フィードバック 受講生にアンケートを回答してもらい、授業の効果を測定します。先生への質問や生徒へのアドバイスがあればフィードバックします。記念写真シートを受講生全員へ贈呈します。

## 2. 授業構成（運動の時間） ※50分

### ①自己紹介～授業の目的を確認（5分）

- ・自己紹介(名前、競技歴、今の活動など)
- ・今日の授業の目的を伝える



### ②準備運動（10分）

- ・ウォーミングアップ、ストレッチ、体操など実施
- ※自身の競技の特性を活かしたウォーミングアップを行う
- ※怪我予防のため、動きの効能・目的を伝える



### ③主運動（30分）

- ・目標に向かって仲間と協力し合い努力すること、その達成感とスポーツの楽しさを感じてもらえるよう、効果的に声かけをする
- ※目標設定と作戦会議の時間を設ける



### ④まとめ（5分）

- ・子どもたちが良く考えたこと、努力をした点を評価する
- ・次の授業は教室のため、移動を促す



### ⑤記念撮影

#### ※授業の最初や最後

- アスリート先生による競技のパフォーマンスを披露
- ⇒子どもたちに、世界で戦ったアスリートの凄さを知ってもらう



## 3. 授業構成（講義の時間） ※50分

### ① 自己紹介・自身の国際経験の話（30分）

#### 自己紹介

- ・選手時代の写真やスライドなどを用いて自己紹介
- ・簡単なプロフィールを配布または黒板に掲示
- ・現役時代にプレーした国、遠征で滞在した国の情報



#### 国際経験の話

以下のテーマのうち**最低2つ**を入れて話します。

- ◆ 海外に出たきっかけ、現地でどのようにコミュニケーションをとれるようになったのか
- ◆ 海外で遭遇した困難とは？それをどう乗り越えたか？
- ◆ 日本と海外の違い、海外でびっくりしたこと
- ◆ 海外を経験してよかったこと、どのような強みができたか
- ◆ 海外に出て感じた日本の良いところ、もっとこうした方が良いと思うところ

### ② グループワーク・発表（10分）

①で先生の話聞いたうえで、子どもたちが感じたことを話し合い、国際社会に出ること、語学の習得、将来の目標など、自身のことにあてはめ考えられるように気づきを与えることを目的とします。

グループに分かれ、それぞれ感じたことを出し合う(5分)

↓  
各グループの代表者が話し合ったことをまとめ発表(5分)



### ③ 授業のまとめ（5分）

各グループの発表を受け、チャレンジャー先生が生徒へのメッセージ、アドバイスなど、この授業で一番伝えたかったことを最後に伝えます。



## 授業後 アンケート回収・記念撮影シートの送付

- ◆ 授業終了後 ⇒ 受講後のアンケートに回答(生徒全員) ※担当教諭より事務局へ提出
- ◆ 約1か月後 ⇒ 記念写真シートを生徒全員へ贈呈

# 4.授業レポート 7年生～9年生



【日程】2024年1月25日(木) 1限～4限

【チャレンジャー先生】前園真聖 先生 (元サッカー日本代表)

## 運動の授業(2年生 2クラス)



まず前園先生と生徒の距離を縮めるために、じゃんけんを取り入れたレクリエーションゲームを実施。前園先生も生徒に交じり、真剣勝負をしていました。後半は、4チームに分かれミニゲームを実施。普段サッカーをすることのない女子生徒も、男子に交じりボールを追いかける姿が印象的でした。生徒の皆さんが、前園先生と一緒に、真剣ながらも和気あいあいとした雰囲気の中でサッカーを楽しんでいる様子で、サッカーは誰もが楽しめるスポーツであると感じてもらえたようでした。

## 運動の授業(1年生 2クラス)



2年生と同じく、じゃんけんを取り入れたウォーミングアップゲームを実施。パス&ランの練習では、まず前園先生とアシスタント講師の式田先生によるデモンストレーションを行い、「パス」のポイントを伝えたくて練習に取り組み、サッカーの経験が浅い生徒も、笑顔で臨むことができました。後半のミニゲームでは、前園先生が各チームに順番でメンバーに入り、チームメイトとして生徒たちと一緒に試合を楽しみました。

## 講義の授業(中学1～3年生)



プロデビューした年に、憧れのマラドーナの母国アルゼンチンへ単身で渡ったのが初めての海外渡航だったそうです。スペイン語は分からなかったものの、チームメイトに身振り手振りを使いながら、何とか言いたいことを伝えようとして始めたところ、徐々に周りに人が寄るようになり、パスを出してくれるようになったそうです。語学を身に付けることはもちろん重要ですが、「伝えたい」という想いがあれば、言葉は通じなくても、心が通じることを、生徒たちに伝えていただきました。(前園先生は、スペイン語会話のテレビ番組に出演され、習得に励んでいました。)



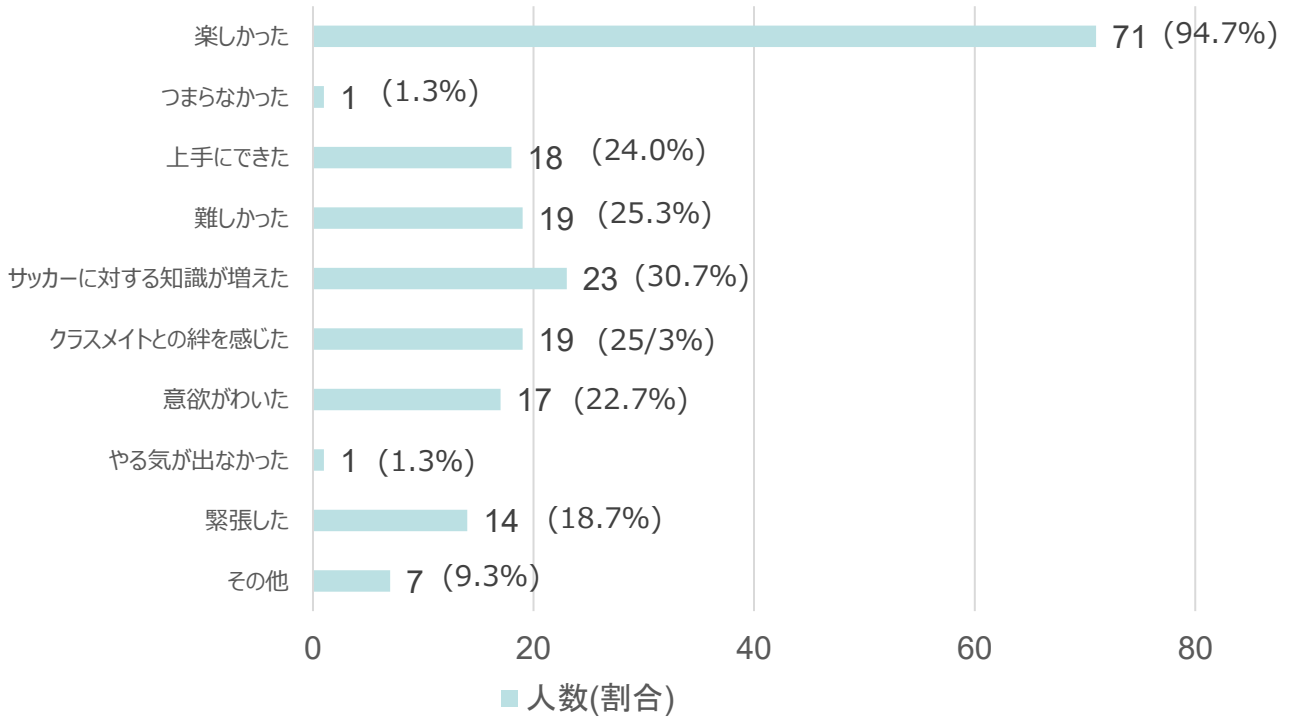
生徒全員へ、記念写真シートを贈呈しました。今回の前園先生との交流を、今後の人生の節目節目で、思い出していただきたいです。

# 5. 受講者アンケートの結果①

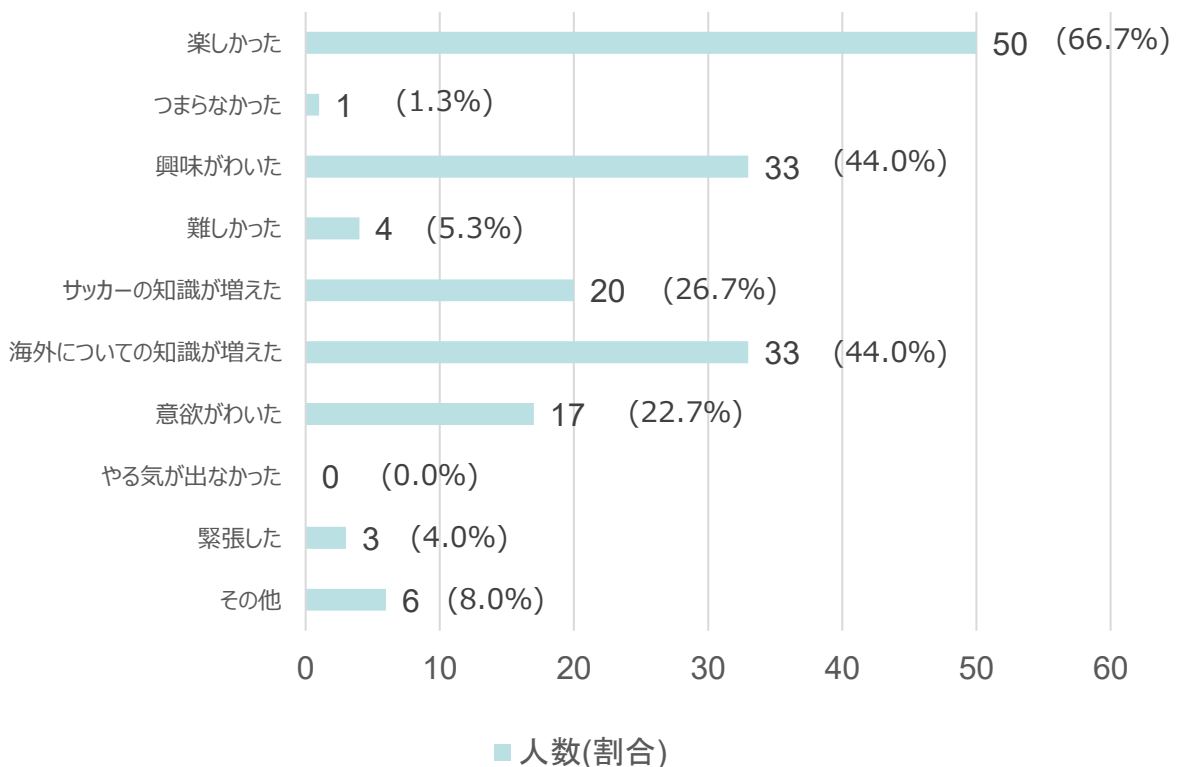


回答者 中学1-3年生 75名

## Q1 サッカーの授業の感想（複数回答可） ※必須回答



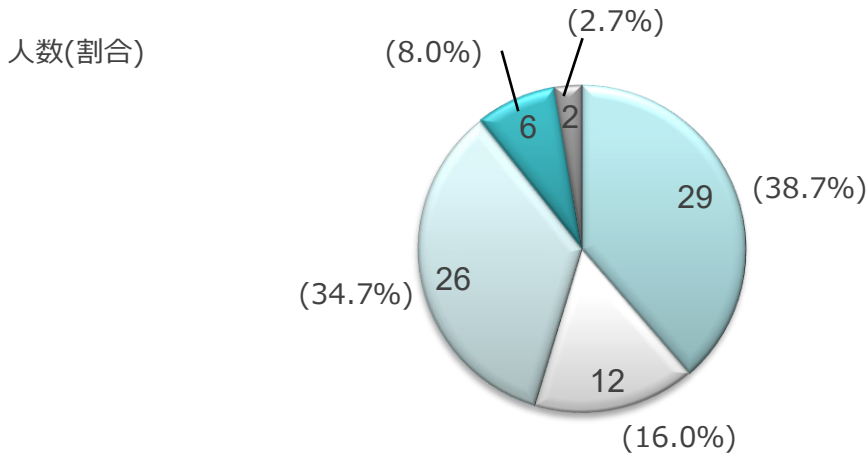
## Q2 講義の授業の感想（複数回答可） ※必須回答



## 5. 受講者アンケートの結果②

回答者 中学1-3年生 75人

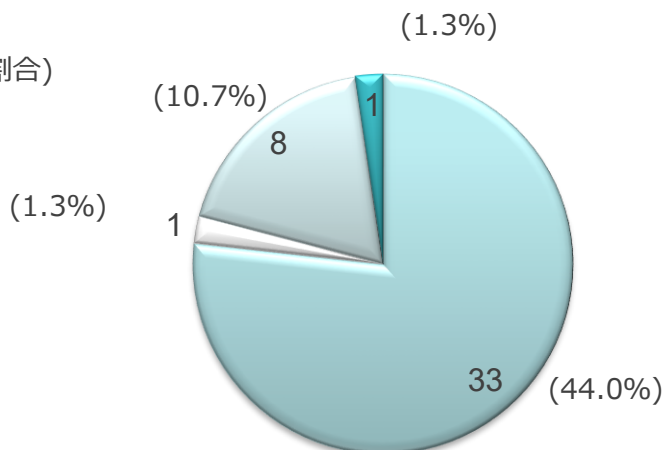
Q3 あなたは将来または近い未来の夢や目標をもっていますか？（どれか一つ） ※必須回答



- 将来の夢・目標をもっている
- 近い未来(3年以内)の夢・目標をもっている
- 考え中
- ない

Q4 (将来または近い未来の夢・目標がある方) 達成に向けて取り組んでいることはありますか。

人数  
(全回答者における割合)



- ある
- 何をしたらよいのかわからない
- 何をしたらよいのか考え中
- ない

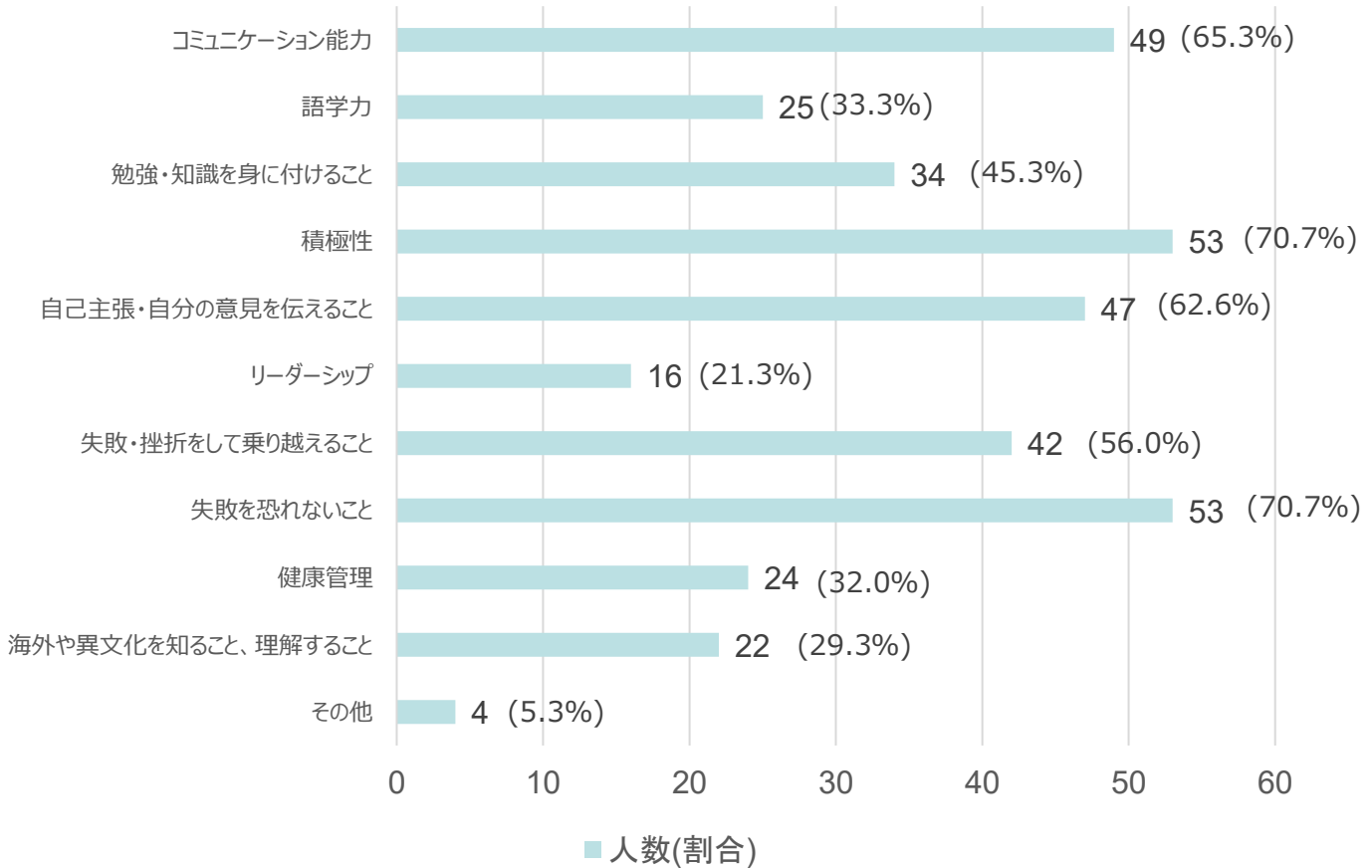


# 5. 受講者アンケートの結果③

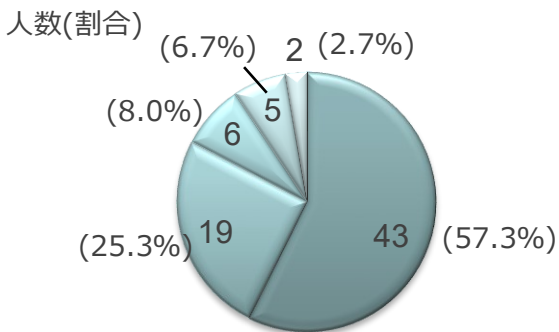


回答者 中学1-3年生 75人

## Q5 本日の授業を受けて、大切だと思ったことは何ですか?(複数回答可) ※必須回答

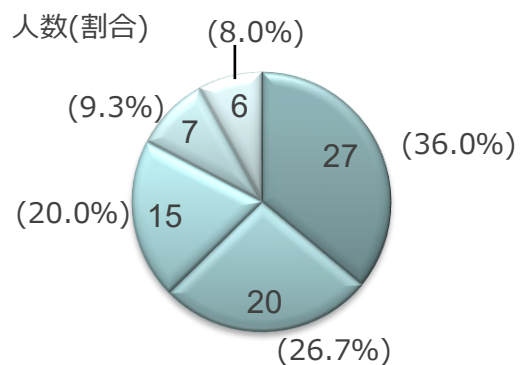


## Q6 スポーツは好きですか?



- 好き
- どちらかという好き
- どちらでもない
- どちらかという嫌い
- 嫌い

## Q7 英語や外国語の勉強は好きですか?



- 好き
- どちらかという好き
- どちらでもない
- どちらかという嫌い
- 嫌い



この事業は、日本財団・爪切り屋足楽の支援により実施しています。



**LIFE IS A CHALLENGE!!**

**世界を舞台にチャレンジしよう!!**



赤坂スポーツクラブ 運営事務局  
一般社団法人FELICEスポーツクラブ